

子どもはだれの者？ 子どもは地球の宝？

子どもはだれの者でしょうか。両親の者？ それとも先祖の者？ さて、子どもは地球の宝者？

そこからすべてが始まるのです。祈るは「どうかこの制度が住民の皆さんに役立ちますように」そのことだけです。

今、日本は経済の裂け目に落ち込んでいくように、大学は卒業したけれど就職先がない。精魂込めて尽くした会社にはリストラされ、果てには自殺に追い込まれるなど社会情勢は不透明で、本村とて例外ではなく、第一次産業である農林漁業が落ち込むとき、人口問題は大きなうねりとなって村を脅かしてくることに必至です。

人口流出が続く、少子化に歯止めが掛からないとしたなら、路頭に迷うはあなた、そして、わたしたち住民なのです。



歯科教室などで気軽にお医者さんに相談できる体制は整っています

子どもに関するアンケートです 心に感じたままをお答え下さい

村は今、年々減少する人口に頭を痛めています。なぜならば、そのことによって村の存続そのものが危ぶまれるからです。人の流出は、地域を衰退させ活気を奪っていきます。村人たちはこのことについて、どのように考えているのでしょうか。

今まさに、子を生み育てる若いお母さん方を中心に、そして、近い将来大人の仲間入りをする次代を担う若人たち中学生に、アンケート方式で答えをいただきました。

子どもに関するアンケートです。(回答者・村民)

年齢	20代		30代		40代		50代		60代		80代		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
人数	1	3	1	6	2	3	1	1	1	1	0	1	21

以上21人から回答を得られました。

1 子どもは何人ほしいですか。

希望人数	1人	2人	3人	4人	5人以上	その他	2~3人	自然に任せる
回答者	2人	6人	5人	2人	2人		3人	1人

2 その理由(また、子どもの人数は希望通りですか?)

回答は希望通りと答えた方が80%ですが「子どもを一人っ子として育てたい」などと考えている方は1人もいませんでした。回答者の90%が経済上の理由で子どもの人数を決めていることが分かります。

「教育費に金が掛かり過ぎる」誕生してから大学(一般大学)を卒業するまでに、少なく見積もっても1人、約1千万円はかかるだろうという回答でした。少子化に歯止めがかからない原因の一つは経済上の理由からです。

特集 子どもは！だれの者？